

CONTENTS

| | | | |
|-------------------|-------|-----------------------------------|---|
| ● 2005楽器フェア開催 | 1 | ● NMRC(ネットワーク音楽著作権連絡協議会)とAMEIの関わり | 6 |
| ● 楽器フェア AMEIブース | 2・3・4 | ● NAMMツアー案内 | 7 |
| ● 楽器フェアを終えて/運営事務局 | 5 | ● AMEI会員名簿 MIDI検定2級2次試験案内 | 8 |

2005楽器フェア開催

AMEI
ブース速報



2005楽器フェアが、平成17年11月3日(木)から6日(日)までの4日間にわたりパシフィコ横浜で開催された。楽器・音楽関連の242社が出展した2年に1度の楽器の祭典は、4日間延べ88,950人の入場者で大いに賑わった。

AMEIブースとして10小間分のスペース(20m×6m)を確保し、「MIDI & AUDIO SOLUTIONS」というテーマを掲げて、11社とAMEIそれぞれの展示コーナー、およびデモ・ステージ(6m×4.5m 客席含む)を設け、デジタル音楽雑誌「DiGiRECO」を無料配布するなどして、デジタル音楽分野におけるAMEIの活動をアピールした。

特にデモ・ステージでは、DAW(Digital Audio Workstation)を中心とした製品デモや、ゲストを迎えてのトークあるいは実演のプログラムが連日組まれ、多数の来場を得た。



2005楽器フェア AMEIブース

MIDI & AUDIO SOLUTIONS

MIDI & AUDIO SOLUTIONS

<http://www.midiandaudiosolutions.jp>

<http://www.midiandaudiosolutions.jp>

<http://www.midiandaudiosolutions.jp>

AMEIブース概要

提供：社団法人 音楽電子事業協会

出展会社：11社およびAMEI

場所：E-4(会場中央 Eブロック)、10小間(6m×20m)

内容：●MIDIやAUDIOに関連した企業の出展により、音楽制作・音楽表現の最先端の現状を、展示ブースおよびデモ・ステージにおいて広く紹介した。写真1, 2

- 音楽業界の様々なジャンルで活躍中のミュージシャン4人を日替わりでスペシャルゲストとして迎え、音楽制作のホットな現状をデモ・ステージにおいてトークとライブで紹介した。

スペシャルゲストのトークライブ

| | |
|-------------|----------------------------|
| 11月3日 (祝・木) | 安西史孝氏 (シンセサイザー/作編曲家) |
| 11月4日 (金) | DJ YAMAMI (DJ/トラック制作) |
| 11月5日 (土) | YUKI氏 (rice/ボーカリスト) |
| 11月6日 (日) | SHARA氏 (EARTHSHAKER/ギタリスト) |
| 総合司会 タチクラミ氏 | |

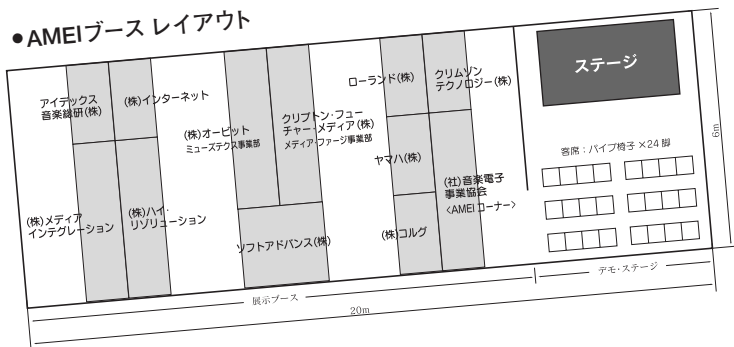
- AMEIコーナーにおいては「MIDIで着メロを作ろう」と題し、MIDIファイルやWAVEファイルを携帯電話用ファイルに変換するツールを紹介して電子音楽と携帯電話との親和性をアピールした。写真3 また、主要なMIDI規格とAMEIの委員会・部会活動を掲示してAMEIの事業を紹介した。写真4, 5

- 音楽雑誌「DiGiRECO Vol.54」(ミュージックネットワーク発行)およびパンフレット「コンピュータ&MIDIで広がるミュージックワールド」(AMEI発行)を会場で無料配布し、音楽制作の面白さを来場者にアピールした。写真6, 7

委託運営 株式会社ミュージックネットワーク



●AMEIブースレイアウト



出展内容

アイデックス音楽総研株式会社

アトリアの最新物理音源モデル"BRASS"を始め、各種ヴィンテージ・シンセサイザーを再現したソフトウェア・シンセサイザーのラインアップを展示。

株式会社オービット ミューステックス事業部

MOTUの"Digital Performer 4.8"およびComponentsによるミュージック・ワークステーションシステムを展示。

株式会社インターネット

本格的DAWソフトの最上位モデル"Singer Song Writer 8.0VS"を中心に、高品質なVSTインストゥルメントとして定評のあるLinPlug社の製品などを展示。

クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 メディア・ファージ事業部

大容量オーケストラ音源、各種ソフト音源/ソフトシンセ、Vocaloidなど「歌うソフト音源/シンセ」、最新HipHop～R&B系/トランス・ライブラリ、映像コンテンツ制作用ライブラリー等の展示。

クリムゾンテクノロジー株式会社

技術開発・ライセンス事業、コンテンツ原版提供・企画サービス事業、コンテンツ制作事業等の展示。

株式会社コルグ

コルグの路線をソフトウェア化した"KORG Legacy Collection"シリーズとMIDIコントローラ"KONTROL"シリーズの展示。

ソフトアドバンス株式会社

ミュージックシーンと映像の統合をテーマに、ステージ演出やプロモーションビデオ作成ツールの紹介とデモを実施。

株式会社ハイ・リゾリューション

最先端のミュージックツール"Ableton Live 5"を中心に、各種ソフトウェア・インストゥルメント、その他の製品を展示。

株式会社メディアインテグレーション

オーケストラ音源"Miroslav Philharmonik"を始めとして、ピアノ音源、ドラム音源、グループ・マシンなど最新のバーチャル・インストゥルメントを展示。

ヤマハ株式会社

"Studio Connections"のパネル展示、その他。

ローランド株式会社

最新鋭のボーカル・プロセッサV-VocalをビルトインしたDAWソフト"Cakewalk SONAR 5"を始め、オーディオ・インターフェースなど様々な音楽制作ツールを展示。

社団法人音楽電子事業協会 (AMEIコーナー)

MIDIファイルやWAVEファイルを携帯電話用ファイルに変換するツールを展示・デモするほか、主要なMIDI規格やAMEIの委員会・部会活動をパネルで紹介。



トピックス1



MMAゲスト

2005楽器フェアの会期中に、米国MMA (MIDI Manufacturer's Association) からのお客さまがAMEIブースに来訪されました。MMAのMIDIに関する新提案についてAMEIとの会合が予定されているため、空き時間を利用して見学に来られたものです。

向かって左から：Rob Rampley氏 (Line 6)、Chris Grigg氏 (Beatnik)、Tom White氏 (MMA会長)、平野専務理事 (AMEI)

トピックス2

AMEIブースの企画スタッフを交えて

向かって左から：平野専務理事 (AMEI)、玉城委員長 (AMEI事業委員会)、SHARA氏 (スペシャルゲスト)、三谷運営委員長 (ミュージックネットワーク)、総合司会タチクラミ氏 (AMEIデモ・ステージ)

注：アンダーラインが企画スタッフ



企画スタッフ

トピックス3

全国楽器協会大会 | 2005楽器フェア

合同懇親パーティー

2005楽器フェア初日の11月3日(木)午後6:30より、全国楽器協会と楽器フェア協会の合同懇親パーティーが、会場に隣接した会議センターにおいて開催されました。全国楽器協会大会は楽器フェアと同じく2年に1度、楽器フェアの初日に開催される全国楽器協会の総会で、当日の午後と同協会の下部組織である全国楽器製造協会、全国楽器卸商組合連合会、全国楽器小売商組合連合会の三団体が一同に集まって開催されたものです。全国楽器協会は楽器フェア(主催：日本楽器フェア協会)の後援団体であり、この日の合同懇親パーティーは両協会の共催により開催されました。

パーティーは、全国楽器協会の伊藤修二会長(ヤマハ株式会社)の挨拶から始まり、乾杯を経て、慶応義塾大学のライト・ミュージック・ソサエティによるビッグバンド演奏を交え、盛大に行われました。



全国楽器協会・伊藤修二会長の挨拶



パーティー風景



慶応義塾大学ライト・ミュージック・ソサエティによる演奏

「2005楽器フェア」AMEIブースの運営を終えて

AMEIブース運営事務局長：(株)ミュージックネットワーク 三谷佳之



初日のゲストは作曲家の安西史孝氏。シンセサイザーの価格が目ん玉が飛び出るほど高かった時代からのシンセマニア。放送禁止な危ないトークで会場はもちろん、スタッフも大笑い。でも、内容はとってもタメになるお話なのでした。



2日目はDJ YAMAMI氏とViViのカリスマ読者モデルの田中みゆきちゃん。トランス系のトラックをどういう風に制作しているかをお話いただきました。事前の話ではみゆきちゃんは水着で歌う…と聞いていたので、チト肩透かし(笑)。

3日目はriceのYUKI氏。ロックバンドのボーカリストながら、実はデジパフォを使って音楽を作る人。普段は絶対に見られないその作曲工程をやさしく解説。この意外な感じはこちらの狙い通り。同じソフトを買いたいというファンも…。



撮影禁止の張り紙が物々しい中、最後にオケをバックに1曲歌ってもらった。会場に集まった若い女性(ほぼ全員が女性)はうっとり+溜息。「こんなに近くでファンと触れ合えて嬉しいです」とのYUKI氏の談にホッとする。



YUKI氏のトーク&ライブの終了後も集まったファンはほとんど帰らず、急遽、サイン+握手会になってしまった。最後のひとりまで名前を聞き、サインをし、握手をするYUKI氏。通路を独占してしまっって申し訳ない>周囲の出展者様

今年のAMEIブースはRolandとKORGに挟まれた広い通路に面した良好な立地条件でした。4日間を通して通行客も多く、デモ実演で集客するには適した場所でした。AMEIブースは全体で10小間の展開をし、うち6小間を12社の展示スペースに当て、残りの4小間をステージとしました。ブース全体として「MIDI & AUDIO SOLUTIONS」というテーマを掲げて、DAW(Digital Audio Workstation)機器から携帯電話、果てはVJソフトウェアまで幅広い内容で展開できたと思います。ただ、細かい話をすれば反省点は数知れず、ここで仔細に披露することは致しませんが、次回までにクリアすべき課題として内省しておきます。

ひとつだけ大きな課題として感じたことは、AMEIブースのあり方です。今回のようにソフトメーカーを中心とした各出展者の長屋形式でよいのか、またはブース全体として来場者にトータルで何かを伝えるべきなのか…。前者は個々の会社の寄せ集め出展ですので、ブース全体が「ミニ楽器フェア会場」の様相になります。後者の場合は個々の会社でブースを区切る必要はありません。テーマごとに展示を考え、その中に協力会社=出展企業の商品展示が存在するというものです。デモ実演にも同様のことが言えると思います。個々に出るか、全体で出るか、はたまた両方か…これが次回の課題かもしれません。予算も絡む問題ですので簡単に答えは出ませんが、魅力あるブース作りには欠かせないテーマだと思います。



最終日のゲストはEARTHSHAKERのSHARA氏。ライブが始まる前から周囲はお客様で一杯になる。う〜む、さすがである。ちょっとサウンドチェックをしただけで、事務局から「音量を下げてください」のプラカードが…よ〜くご存知で。



意外にもハードロック系ギタリストのSHARA氏はProToolsを使って作曲をしています。自宅のパソコン画面の写真を披露しつつ、作曲工程を説明する姿はやはり意外であり、狙い通りでもある。今後はギタリストとDAWの時代が来るだろう。



予想通り、演奏が始まるまでライブハウス状態になる。AMEIの看板とのミスマッチが面白い。大きな音量で周囲のブースには迷惑をお掛けしました(ベコリ)。最初に演奏は最後の5分間だけですから…と断っておけばよかった?



別会場でのライブを終えて、ANIMETALのMASAKI氏(B.)が立ち寄ってくれたので4人で記念撮影。みんなキャラが濃〜いです。



AMEIブースの運営スタッフが勢揃い。右は学校関係者、左は新宿2丁目のバーのママと用心棒のように見える。4日間お疲れ様っ。